

ディスコン通信・彩の国

埼玉県ディスコン協会 会報 第3号

2019年（平成31年）1月発行

全日本ディスコン交流協議会執行役員会と当協会役員会の報告

会長 山田 武

昨年暮れ12月21日に大阪で開催された全日本ディスコン交流協議会（以下全日本協議会という）の執行役員会に出席し、また、その結果をもとに、12月23日当協会の役員会を開きました。そこで協議した議題のうち、今年ディスコン活動の主な項目を3点ご報告いたします。

1. 第7回全国ディスコン交流大会について

第6大会は昨年5月12日に奈良県斑鳩で行われ、今年は5月に大阪で開催する予定でしたが、下記の事由により開催時期と場所が変更になりました。

毎年都道府県持ち回りで開催されている「第73回全国レクリエーション大会」が、今年は宮城県で開催されますが、特別協賛行事（日本レクリエーション協会加盟団体以外の種目）としてディスコンの参加が決定されました。全日本協議会に加盟している宮城県ディスコン協会が主管団体となって運営し、下記により「全国規模のディスコン大会」が開催されます。

開催日：2019年9月15日（日）

会場：仙台市泉体育館

参加者：全国のディスコン会員及び開催県の一般市民

規模（予定）：48チーム（1チーム3名）、12コート

全日本協議会としては、5月の大阪大会を取り止め（会場も確保不能）、今年は仙台での大会を全国大会と位置づけて、各県挙って仙台に集合しようということが決定されました。

2. 第12回埼玉県ディスコン・オープン大会について

上記の決定に伴い、今年は当協会としても、毎年秋に開催している県大会を、会場を横瀬に移して、春開催に変更することにいたしました。

開催日：2019年5月26日（日）

会場：横瀬町スポーツ交流館（横瀬小学校体育館）

参加者：埼玉県及び県外のディスコン愛好者

規模（予定）：32チーム（1チーム3名）、8コート

3. ディスコン普及啓発ブック（全日本協議会発行）の改定について

昨年5月、全日本協議会への加入に伴い、当協会のルールブックは表題のブックを採用しておりますが、全日本協議会では、下記の基本方針に基づき、今秋に改定版の発行を計画しています。

（1）ルールの簡素化を図る

- (2) 主審の負担軽減のためにシンプル化する。
- (3) 競技者を主役とする。
- (4) ディスコンの面白さ、意外性などの特徴を損なわない。

執行役員会では、下記の改定案が提示されました。最終改定案は3月中に取りまとめて、各加盟団体に提示し、意見を集約する方針です。

【ディスクンルール改定案：主なもののみ記載】

- ① 副審の立つ位置は、現行では投盤ラインの右側を主●と表示し、左側を従(●)としているが、右側のみにする。
- ② 等距離判定の場合の得点の採点・・・現在のルールは、等距離ディスクを除外した後に、ポイントに近いチームのディスク枚数が得点となり、仮に、3枚あれば3点となるが、改定案は4案ある。
 - (1案) 等距離ディスクを除外した後の枚数に関係なく、近いチームに1点の得点とする。
 - (2案) 等距離ディスクが同数の場合は、ドロー(引き分け)。
 - (3案) 等距離ディスクが同数でない場合は、その枚数差が多いチームの得点。
 - (4案) 上記は、すべてのケースでドローとして単純化する。
- ③ イニング中、3mm以内の誤差は等距離と判定し、計測しないことになっているが、イニング終了後に計測する場合も、3mm以内は等距離と判定する。
(現在の試合運営では、計測して1ミリでも差があれば近いディスクを得点と判定されているのでは。)
- ④ コートを囲うライン上にディスクやポイントが触れた場合、少しでも触れていればセーフとする。
(現行では、外側のラインにディスクが半分以上乗っている場合はセーフ)
- ⑤ コート外着地、ずらし投法、投盤30秒ルールは、反則・ペナルティとはせず、投盤のマナー・投げ方の項へ記載する。(固定滑走法が反則であることは不変)
- ⑥ 審判が赤を指示したのに青が投盤した場合、投げたディスクをそのイニング中没収するとともに、赤に1点加点する。
 - ・・・現行の青のディスク1枚没収では、ペナルティが少ないので、投げたディスクは没収せず、赤に1点加点とする。(注意事項ではない)
- ⑦ 30秒ルールは、時間が長い。20秒に短縮する案も考えられる。
- ⑧ 投盤前に、ディスクを誤ってコート内に落下させた場合は、投盤と見なす。
手前(コート外)に落下の場合は、再投盤できる。
- ⑨ 赤が先攻で、ポイント投げを2回失敗した時、ディスク1枚無効、ポイント投盤の権利を青に移譲するルールは、ペナルティがきつ過ぎる。
赤の1枚無効は行わず、ポイント投げの権利のみ青へ委譲する。
- ⑩ 時間制の場合、ホイッスルが鳴った・・・赤のディスクのみ(どちらか一方のみ)投盤されている場合、投盤者がラインオーバーしたら反則にしている(相手チームに1点加点している)地区とノーゲームにしている地区あり。⇒どちらかに明示すべき。
 - ・赤のディスクを投げたらポイントアウトした場合・・・青チームに1点加点している地区とノーゲームにしている地区あり。⇒どちらかに明示すべき。
- ⑪ 投法・・・5つは必要ないのでは？
- ⑫ 大会ルールとして、試合開始時に相手チームを3分以上待たせる(メンバーが3人揃わない)場合・・・ペナルティとして相手チームに1点加点する？

親睦旅行・はまゆう山荘（群馬県高崎市）

幹事：所沢支部 磯 竹栄

9月9日（日）・10日（月）に薄曇り時々雨の中、恒例の親睦旅行が行われました。はまゆう山荘は、雄大な山々に清流・烏川、昔ながらの自然豊かな田園風景があり、自然を体感できました。館内では、直結の体育館があり、スポーツ合宿に最適。また敷地内に源泉から汲み上げられる天然温泉もあり身体に優しく癒されました。

バスをチャーターし、長瀨、横瀬、川越を經由し各支部から総勢28名を乗せて、山間の自然風景を眺めながら、一路「はまゆう山荘＝高崎市倉渕町」に向かい、11時40分頃に到着しました。車中では、酒盛り、談笑で盛り上がる中、ディスコン大会の組み合わせ抽選、コート割り等の準備が行われました。我がチームが優勝、チームの仲間同士で握手するなど、早くも戦闘モードに切り替えた方もいました。12時から昼食「横須賀海軍カレー」を食べて、体育館へ移動し、コート設営（3面）を行い、13時～競技開始、各コートとも、ナイスショットに拍手やハイタッチ、ディスクの最終投盤に逆転、珍プレーに笑い歓声が沸き、楽しい大会でした。16時20分競技終了し、後片付け後、宴会時に表彰式を行いました。

○試合方法：

- *コート：標準（5m×10m）
 - *時間制：13分＋7点先取
 - *（3チーム／1コート）×3コート、
 - *各チーム6試合
（前・後半コート割り変更）
- リーグ戦により順位決定

競技終了後、敷地内の源泉から汲み上げたお湯「美肌の湯」に浸かり、身体の疲れを取り、ツルツルしたお肌に変身し浴衣に着替えて、宴会会場に集合しました。



余興で盛り上がる宴会風景

冒頭、山田会長の挨拶があり宴会が始まりました。初めに、ディスコン大会の表彰式が行われました。成績結果は次の通りです。

- 競技成績：*優勝：Gチーム（伊藤はま子＝川口、村上ケイ子＝横瀬、山田 武＝所沢）
*2位：Eチーム（内海三枝子＝横瀬、齊藤竝子＝横瀬、町田真佐子＝横瀬）
*3位：Iチーム（南 ミツ子＝長瀨、村上尚之＝横瀬、浅見健一＝横瀬）

優勝Gチームの表彰、順次2位、3位など上位入賞チームが表彰されるたびに、盛大な拍手で沸いた。後半、各支部のアトラクションが行われ、歌に、踊りに、ゲームに身振り、手振りに体を動かし、笑いと感動に包まれました。

2日目は、小雨交じりの「はまゆう山荘」を9時30分に出発、次の目的地「鬼押し出し園＝群馬県嬭恋村自然公園」に向かいました。鬼押し出し園は、浅間山の噴火の際に流れ出した溶岩で、膨大な量の溶岩が風化したもので、火山噴火で飛んできたであろう黒い岩がごろごろと広がり、迫力ある景色、見晴らしも良く自然の雄大さに感動しました。雨は小止みなく降り続き、車窓から何も見えず霧の中をバスは走り軽井沢へ着きました。昼食を摂り、



鬼押し出し園にて

その後、軽井沢アウトレットに立ち寄り、少ない時間でしたがショッピングを満喫し、碓井・軽井沢インターを經由し、川越インターで下りて、2日間の親睦旅行を終え帰路に着きました。

第11回埼玉県ディスコン・オープン大会2連覇を振り返り

さいたま支部Sチーム 中川 止男

私達、さいたま支部Sチーム（中川止男・池沢富吉・鷹巣光子）は1昨年に続き、昨年の県大会（11月3日、上尾にて開催）も優勝する事が出来、思いもかけずに2連覇をする事と成りました。

しかしながら県大会のゲームを振り返って見ると、6ゲームとも苦戦の戦いでした。メンバーの1人池沢さんは、県大会に参加するにあたり「勝とうと思えば負ける」と言い、とにかく「ゲームを楽しむような気持ちと平常心で臨もう」とも言っていました。鷹巣さんは常に冷静で、ピンチに陥った時、冷静な投盤でチームの危機を救ってくれたりして、どうにかこうにかゲームを勝ってくる事が出来ました。

このような大会で上位入賞や優勝するには、ただディスコンが上手なだけでは、中々上位には行けない気が致しました。確かに上手な事は必要だと思いますが、もう一つの上位に行く為の要素は「運」だと思いました。

私達のゲームを振り返ってみると、体制不利なインングの時も相手の投盤ミスにより逆転した事が何度もあり、又、私達のチームにとって、ディスクとポイントが難しい配置の時、投盤したディスクが想定した軌道じゃなく、思いもよらぬ動きで相手ディスクをはじきポイントに近づくなど、これらの事は「運」とか、ツキが有るとしか言いようのない気が致しました。

なので、今大会出場するにあたり、優勝を目指すより、昨年優勝させて頂いたチームとして最小限恥ずかしく無いゲームをして、その結果、良績が残せば良いかなと思う気持ちで臨んだ結果が、さいたま支部チームとして思いもよらぬ2連覇と成りました。

が、これまでの県大会に於いて、横瀬支部チームが4連覇を成し遂げた実績には、只々感服しており、まだまだ私達にはその足元にも及ばない素晴らしい実績です。

本年の大会も、技術と戦略と運の3つを兼ね備えたチームが上位に入ってくると思われます。私達は健康に留意し、又、各地域、各支部のディスコン会員の皆様も健康に留意し、次大会にて皆さんと元気で出会い出来る事を楽しみにしております。



第23回ディスコン・インストラクター研修会に参加して

所沢支部 神川 勝

ディスコンとカーリング

「そだねー」でもおなじみになったスポーツのカーリングの魅力はどこにあるのでしょうか。テレビでじっと観戦してしまいます。ボーリングのように自分もやってみたら楽しいだろうと思います。カーリングはどう狙ってゆけばいいのでしょうか。残念ながら氷上のスポーツでは簡単には体験することができません。きっと寒く長い間氷の張るところでは天然のコートもあって、これを利用したスポーツとして生まれたのでしょうか。

世代交流ができるスポーツ

20m四方程度の床張りなどのスペースがあればコートができてカーリングのような楽しみが味わえる。ボーリングのように腕力や体力もいらぬディスコンというスポーツが生まれました。これが高齢化社会のなかで受け入れられたのでしょうか。どこでも手軽にできてお年寄りばかりでなく子供でもできる、その親御さんも参加すれば世代交流のスポーツにもなります。

ちょっとお手伝いするのがインストラクター

ディスコンには審判と記録係が必要で、どなたがやっていただいてもよいわけですが、すでに経験されているルールなどを再確認されたり、疑問点を確認する、そのような機会としても、気軽にインストラクター研修会に参加されてみたらいかがでしょう。実技を含めた一日の講習と認定書は、きっとお手伝いや新規指導の自信になることでしょう。



前列が受講者で、左側が筆者

地べたのディスコン体験記

所沢支部 石附 東

朝から良く晴れた秋の一日（平成30年10月20日・土）、山田会長の車に松本さんと同乗し入間川小学校に向かう。校庭でディスコンをやるのだと言う。ディスコンは室内でやる競技だと思っていたが、面白い発想をする人が居たものだ。会場に入ったら、県レク協の双木理事（入間のディスコン・インストラクター）が、校庭の一角に包装用テープで5m×10mのコートを作り、砂と落ち葉を箒ではいている場面に出くわした。

埼玉県レクリエーション協会の「ニュースポーツ・セミナー」は、毎年1回東西南北のブロックごとに各市町村持ち回りで開催されているが、今年の西部ブロックは狭山市が担当で、狭山市レク協が毎年開催している「レクリエーション広場」と抱き合わせで行うとのことである。「ニュースポーツ・セミナー」の種目はディスコンであるが、「レクリエーション広場」の種目は、ミニテニス、グランドゴルフ、ペタンク、ゲートボールなど数多くあり、狭山市からは、フォークダンス連盟、民謡連盟の方々も参加し、近隣からは川越市、坂戸市、鶴ヶ島市からも参加者がおり、開会式が行われた校庭には大勢の人々が集結していた。

【第3号】平成30年後半（7月～12月）の主な行事特集

ディスコン参加者は3人1チームで、あらかじめ10チームが編成されていたが、他の種目との掛け持ち参加のチームも多く、対戦相手が揃わず競技の進行には苦労した。予定していた対戦数は消化できなかったものの、試合時間は8分間の時間制で、11試合を行った。地べたなので勝手が違い、変則的なこともあったが、ほぼ時間内で無事に終了することができた。また、コートが校庭なので、時折突風で枯葉が舞ってプレーを一時中断せざるを得ず、戸惑う場面もたびたびあった。



一番びっくりしたのは、大きな弧を描いて投げたディスクが、地べたにある赤のディスクの真上に落ちた瞬間、ディスクがひっくり返り青になったことである。室内では考えられない珍現象であった。地べたでは、ディスクを滑走させて相手ディスクをコート外に弾き出すという技、またディスクを弾ませてポイントに寄せる技などが出にくく、逆転に次ぐ逆転のスリルに乏しいのは仕方ないことかも知れない。楽しむには、もう一つ物足りなさが残った。今後、アウトドアスポーツとしてディスコンを実施するのであれば、大幅な改善・工夫が必要だろう。

高齢者が澁瀬として生きるため必要なのは、栄養・運動そして地域とかわることだと言う。今回の経験を踏まえて、ディスコンが適宜な運動及び地域と交わるサークル活動の一環として最適かも知れないと思う。普及活動の一つの方法として、アウトドアスポーツとして取り入れることを考えて見ることも必要かも知れない。

当協会初の上級指導者研修会に参加して

川口支部 佐野 正宣

県オープン大会前日の平成30年11月2日（金）に「上級指導者認定研修会」が埼玉県上尾市スポーツ総合センターで全日本ディスコン交流協議会の主催により開催されました。今回の認定研修は、当協会が、昨年4月より上部団体の全日本ディスコン交流協議会に正会員として加盟した事で実現したもので、同交流協議会としては5回目、関西圏以外では初めての開催となりました。



この認定資格の定義は「上級指導者とは、ディスコン競技に関するルールや競技技術・戦術の正しい知識とスキルを持ち、府県内外において普及啓発活動を計画・指導・推進する能力を有する者を指す、インストラクターの上級資格である。」また受講資格は「インストラクターの認定者であり、地域の普及啓発活動に積極的であって府県協会長が推薦する者。」となっています。（この部分は認定研修会資料より引用）

今回の研修参加者は、所沢、さいたま、川口の各支部からの12名と、交流協議会の賛助会員である宮城県ディスコン協会から2名、計15名の受講者と、講師陣として、関西在住の3名の交流協議会役員、県本部から事務局長1名の総勢20名でした。

研修は午後1時より、スポーツ総合センター多目的室に設置したコートにおいて、宮武正浩交流協議会長の挨拶に始まり、競技の進め方・審判の役割と実技演習と競技技術・投盤の技術、試合の戦術と実技演習等、模擬試合形式を取り入れながら約1時間半かけて行いました。文面で見ると一見堅苦

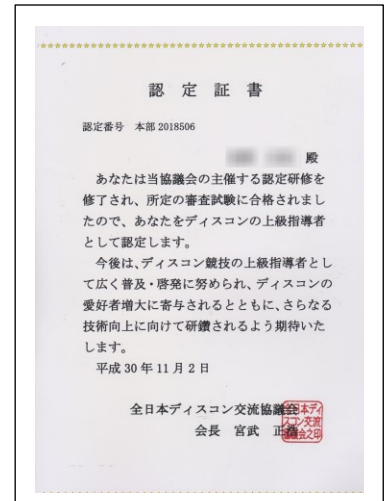
【第3号】平成30年後半（7月～12月）の主な行事特集

しい研修に見えますが、講師陣の、関西の方特有のユーモアある話術に助けられ、また受講者からは微妙な判定に関する質問を巡り、コート上で白熱した真剣なやり取りが見られました。

実技演習として、審判としてコール技法について、大きな声を張り上げて基本に忠実に、交代で体験することが出来ました。

後半は会場を研修室に会場を移し、宮武会長から上級指導者の役割・心得について、大林、平野両副会長からは改正となった普及啓発ブックを教材に、20問からなる記述式演習問題、25問からなる選択式演習問題を実施し、自己採点を行った後、これらに関連する解説を受けました。

3時間半に及ぶ一連の研修の終了後、受講者一人ひとりに「認定証書」と「上級指導者認定証」が宮武会長より交付されました。



認定証書



カードホルダー

今回の認定研修は半日という時間の制約から、やや慌ただしい認定研修となりましたが、技術向上のため、基礎的なアプローチ練習、バウンドアプローチ、ディスクヒット等の投盤スキル向上練習など多面的戦術・戦略の必要性を再認識させる研修でした。

埼玉県レクリエーション大会 in いるま参加報告

事務局長 松本 元伸

日時：平成30年11月18日（日）総合開会式午前9時15分～、種目別交歓会午後1時～3時

場所：入間市市民会館他8会場

主催：埼玉県、埼玉県レクリエーション協会、入間市レクリエーション協会

参加種目：ディスクを含め28種目

実施概要：

- ・総合開会式は、約1,000名の出席者が見守る中、オープニング・アトラクションとして東野高校ダンス部の「集団ダンス」、入間少年相撲クラブの「わんぱく力士横綱土俵入り」が披露された後、団体・個人の表彰があり、厳粛かつ和やかな雰囲気の中で執り行われた。
- ・午後から市内周辺8会場にて、参加28種目の交歓会・講習会が開催された。ディスクはメイン会場の市民会館2階3号室で、多種目と隣接した場所で、参加者の回遊が多かったので、入り口前や廊下などで積極的に呼び込み・勧誘を行った。1チーム3人でチームを編成し、ゲームを体験してもらった。午後3時頃までに、参加者は56名に達し、盛況のうちに終了した。



【第3号】平成30年後半（7月～12月）の主な行事特集

当日のスタッフ参加者は8名（山田会長、磯・塩野谷両副会長、松本事務局長、佐野監事、金森さいたま支部長、狭山市2名）

第24回インストラクター認定研修会に参加して

秩父市地域振興課大滝支所 末弘将人

11月25日（日）横瀬町町民会館にて、埼玉県ディスコン協会による第24回ディスコン「インストラクター認定研修会」が行われました。研修会では10名の参加者と共に、ディスコンの競技方法やインストラクターの役割を学びました。また午後からは3チーム総当たり戦の実技演習を通して、「投法と戦術」や「審判のやり方」の指導を受けました。審査試験を受けて全員無事に認定証書を授かりました。最後に「健康増進と指導者の心得」の講演と「埼玉県ディスコン協会の活動状況」について学びました。

インストラクターの役割には、「ジャッジメント」のほかに、「マネージメント」能力も必要だと学びました。これからは「ディスコンを一参加者として楽しむ」側から、ディスコンを子ども会、青少年団体、福祉センター等のレクリエーションに。また、健康や体力づくりに。そして、親睦や仲間づくりにディスコンを通して、それぞれ遠方に住む大滝のおじいちゃんおばあちゃんにとって、ふれあいの場が生まれます。過疎化地域の大滝にとって、子どもと大人がふれあう機会が生まれます。親子や学校を巻き込めば、幅広い世代の交流が生まれます。

ディスコンが私たち人と人とのつながりをつくってくれます。そうして、地域の輪を広げてくれますようにと願います。その一員となれるように私も活動していきたいと思います。

まずは“誰でもいつでもすぐできる楽しいスポーツディスコンを私自身が楽しんでいきたいです。”



前列が受講者で、右から4人目が筆者

【第3号】支部便り

ディスコンさいたまに感謝状

さいたま支部 佐藤 ミキ子

平成30年11月9日（日）さいたま市民会館おおみや大ホールにて、さいたま市社会福祉協議会主催による「平成30年度さいたま市社会福祉大会」が開催され、我が「ディスコンさいたま」は、社会福祉活動共助者としてボランティア活動を5年以上、地域住民で社会福祉活動の推進のため積極的に活動を行い、その功績が顕著なものということで、感謝状と記念品の手作りクッキーと手芸品を受け取りました。

当日は晴天に恵まれ、金森支部長以下9名がピンクや黄色のユニフォームを着用し式典に臨みました。「継続は力なり」これからも地域活動共助者として、会員一同気持ちを新たに歩んでいきます。



第3回所沢オープン・ディスコン大会開く

所沢支部長 磯 竹栄

2018年9月25日（火）午後1時～5時、所沢市こどもと福祉の未来館・体育館で、第3回所沢オープン・ディスコン大会が開催されました。

当日は、所沢支部（13チーム）以外から「さいたま支部」2チーム、「川口支部」2チーム、「いきが大学OB」3チームの合計20チーム（選手60名、スタッフ7名：合計67名）、内会員以外は17名が参加しました。

1. 準備・競技内容

13:00～13:50 コート設営・受付・チーム編成・番号札渡し

13:50～14:00 選手・スタッフ整列

14:00～14:10 挨拶（磯支部長・山田会長）スタッフ紹介

14:10～14:40 競技説明（磯）、準備体操（塩野谷）、試投（コート毎に分かれ）

*コート：ローカルサイズ（幅4m×奥行10m）グリーンの養生テープ使用。

*チーム編成：3名／1チーム、合計：20チーム

*コート割り：（4チーム／1コート）×5コート

*試合方法：時間制（13分、7点先取）前半3試合、後半3試合の合計6試合実施

*入賞：優勝、2位、3位、飛び賞、ブービー、賞状授与：優勝、2位、3位

【第3号】支部便り

14:40～16:20 競技、

16:25 成績発表・表彰式、記念写真

*成績：優勝：さいたまA、2位：さい
たまB、3位：宮本町A

16:55 後片付け終了、退館

2. 所感

今回は、市報掲載や会員の口こみにより、参加者を募ったことが、功を奏し多くの参加者が集まり成功裡に終わった。会場の関係で、

ローカルルール（コート：4m×10m）で5面を使用しま

した。各コートとも、ナイスプレーに歓声や拍手、ハイタッチが見られ、また珍プレーには爆笑に沸きました。運営にあたり、支部スタッフの協力が大きな力になりました。



上位入賞者一同



終了後、全参加者の記念写真

3. 大会予告（第4回所沢オープン・ディスコン大会）

*日時：2019年3月29日（金） 午後1時～5時

*場所：所沢市こどもと福祉の未来館 体育館

*参加費：200円／1人（小学生以下無料）

*申込み：3人／1チーム（1人参加可、事務局でチーム編成します）

*申し込み・お問合せ：TEL&FAX：04-2924-7088（磯）

新しい出会い ニュースポーツ「ディスコン」

川口支部

渡邊 眞作

私は「ディスコン」を始めて一年になりました。退職してから一年程は特にこれといった活動にも参加せず、ダラダラと居心地の良い生活に満足していました。しかし、しばらくすると家族の心配やら助言とか、また他の人の話を聞いているうちにこのままで良いのかなあ～？と、先々の不安を感じるようになってきました。一年近くもこの様な生活をしていると、新たに何かを始める事が億劫にもなっていました。

ある時、家内と一緒に出掛けた折、出会った知人に「ディスコン」を一緒にやらないか？と勧められました。その時は説明を聞いても良く理解できませんでしたが、断る理由も見つからず、とりあえず参加してみることにしたのです。それ程に興味も無く始めたのですが、何度か参加しているうちに仲間の皆さんが気さくに指導して下さる事もあり、次第に面白くなってきました。「ディスコン」は単

【第3号】支部便り

純な競技の様ですが、駆け引きもあり結構難しいスポーツだと感じました。又、大会等に参加してみると会員の皆さん方は技術的な面など、それぞれに特徴があり参考になりました。だが、その事が必ずしも自分に向いているという訳ではない事も面白いと思いました。自分としては、ディスクを思う様にコントロールしてコンスタントに投げる事が出来ること、ポイントになるべく近づくこと、他のディスクにどのように当てると自分のディスクを良い位置に持ってゆくことができるか等々、戦略方法を考える事は多々ありますが、とにかく面白いです。皆さんがいうところの“ハマった”様です。

まだまだ技術は未熟ですが、インストラクターの取得もさせて頂き、大・小の大会へこれまでに3度程参加しました。大会ならではの緊張やら、たった一投の為に勝敗が逆転する等々、それはそれで面白いものでした。これからも皆さんと練習会や大会へ可能な限り参加し、自身の健康のためにも「ディスコン」を楽しもうと思います。



川口支部で初めて行われた「ディスコン交流大会 in 並木」参加の皆さんと

7年を振り返って

横瀬支部 町田 留吉

月日の流れは早いもので、私がディスコンを知ってから7年も過ぎました。横瀬支部発足時から横瀬支部長である町田氏よりお勧め頂き、私も年齢的にシルバーであり、室内競技が適当かと思ってお世話になることにしました。始めて1年間で(2013年)7月にインストラクター研修会に参加、認定を受け5年余り過ぎましたが、何の役にも立てない認定者でした。

平成24年9月より、練習結果を全部記録してまいりました。その一部を表に出来ました。スペースがありましたら報告させていただきます。何はともあれ、健康増進に大いに役立っております。地区に於いても重要な行事として、月に4~5回の練習会に参加(20名前後)の皆様が目的を同じくする者で気持ちが合わないわけが無い、これが本当のコミュニティ行事だと考えております。

県協会の普及振興担当副会長でもある町田氏が、ディスコン普及のため、全力で秩父地区内の長瀬・大滝・それぞれの地区にディスコンを広め普及に成功しております。会員増強が図られており、本当に頭の下がる思いです。人間的にも得に生まれておりますね。

更に一昨年(2017年)6月には埼玉県代表として全国大会にも参加させて頂きました。山田会長・町田支部長・私の3名です。滋賀県草津市が会場でした。前日には彦根城の見学もあり、

【第3号】支部便り

非常に有意義な大会でした。でも参加者の90%位は関西の地元でした。埼玉の成績は最後から数えた方が早い位でした。でも本当に楽しい全国大会でした。

本年は埼玉県大会を横瀬支部が会場と伺っておりますので、全力でその準備を皆様と一緒に進めたいと考えております。

最後に私事で恐縮ですが、今年で米寿を迎えます。私のこれからの人生設計ですが、米寿のち90歳まで、月2回のゴルフ・月2～3回のディスコンと、あと5年は頑張りたいと思っています。今後ともご指導のほどを宜しく申し上げます。

更なるディスコン横瀬支部の発展を願って、筆を置くことにいたします。

長瀬支部便り

長瀬支部 長縄絃美

皆様初めまして、今回初の便りを送る長瀬支部の長縄絃美と申します。

長瀬支部は、2015年9月に発足いたしました。それ以来、私もディスコンの虜になりました。練習場所は長瀬中央公民館体育館で、高田支部長を筆頭に毎週木曜日、楽しく練習会を行っております。毎回4試合をこなし、審判と競技を休む暇なく頑張っております。年1回開催される横瀬 vs 長瀬大会も大いに楽しみです。

昨年、長瀬支部から5名のインストラクターが認定試験に合格しましたので、積極的に審判に参加いただいております。でも、いくらインストラクターと言っても、なかなか自分の思ったところへ投げられないなど、試合中は笑いがはずみ、和気あいあいと楽しんでおります。

このディスコンは毎試合その時々で、頭を使うので脳トレに最高の気がします。しかし、練習会場は体育館です。寒さ暑さは付き物、凍えて手が痺む日もあり、試合終了後にはすぐ水分補給となる夏の暑い日もあります。でも、長瀬支部では毎回出席率は95%です。

私が願っているのは、長瀬支部に男性が増えることと、秩父郡市のディスコン仲間を増やすことです。郡の大会ができる様、私も一人でも多くの皆様にこの楽しさ・面白さを伝えたいと思っています。

最後に女性多めの長瀬支部を今後とも宜しく申し上げます。

編集後記

副会長 塩野谷 守夫

紙面から各方面の活躍振りが目のあたりに感じられます。特にボランティア活動において、さいたま市社会福祉大会にて感謝状を受けたことは喜ばしい限りです。全日本ディスコン交流協議会に入り、上級指導者研修会が実施される等、一段と活動が活発化してきました。

今年度の埼玉県ディスコン・オープン大会が、横瀬の会場で5月に開催され、全国大会が9月に仙台で開催されることも決まっています。会員の皆さんが一丸となり、支え合って大会を成功させましょう！

発行責任者：埼玉県ディスコン協会 会長 山田 武

Tel : 04-2942-3746

URL: <http://www.saitama-discon.jp/>